

1 山梨県内公共図書館の概況(平成 26 年度)

市町村立図書館の建て替えに関する動きとして、山梨市では7月14日に「新山梨市立図書館建設に係る場所及び規模等」について有識者会議を設置した。会議では市役所本庁舎内や現在図書館がある市民会館等の4案を検討し、10月8日に答申、11月に山梨市民会館に決定した。山梨市立図書館協議会でも施設・運営等について検討を重ねている。

市町村立図書館の主な動きとしては、甲府市では、公民館図書室の整備が進み、中道公民館図書室、南公民館図書室がオープンし、分館的役割を担うこととなった。このうち南公民館図書室では、団体貸出制度を利用した蔵書の定期的な交換を行うことで、継続的な利用を目指している。他図書室も整備を継続する予定である。

韮崎市では、地元の図書館で興味があることを調べた研究成果を競い合うコンクールを初めて開催した。入賞作は「図書館を使った調べるコンクール」へ推薦作として応募した。この取組で、韮崎市立図書館は「図書館を使った調べる学習活動賞」を2月28日に受賞した。

甲州市では、塩山図書館の改修工事が終了し、4月1日にリニューアルオープンした。畳張りの児童コーナーやヤングアダルトコーナー、図書館専用トイレや授乳室を設置した。合わせて休館日を火曜日に変更し、市内の他図書館との重複を避けた。

市川三郷町では、開館30周年記念事業として、柳田邦男氏を講師に迎え、11月8日に記念講演会「心の豊かな人生を～ことばの力 生きる力～」を開催した。

学校図書館等では、「第39回全国学校図書館研究大会(甲府大会)」が、「学びを深め知を活かす学校図書館～豊かな育ちを支えるために～」をテーマに8月6日～8日の日程で開催された。

県教育委員会では、本を贈ることを通じて読書に親しんでもらおうと「やまなし読書活動促進事業」を今年度より開始した。6月28日にファーストステージとして、公募したロゴマークとキャッチコピーの発表、パネルディスカッションを開催した。パネラーには教育長・県立図書館長・大学教授・書店関係者が登壇した。「本を贈った・贈られたエピソード」の募集も行い、県内外から945点の応募があり、セカンドステージにて表彰した。

県立図書館でも、「やまなし読書活動促進事業」の一環として、1年を通じ様々なイベントを行った。6月28日に「山根基世氏トーク&朗読会」を開催し、184人の申込みがあった。11月11日には、藤原正彦氏を講師に「祖国とは国語」と題した講演会を開催し、364人が参加した。「贈りたい本大賞」を9月～11月に公募し、応募総数2,617点から選考委員による2回の選考を経て絞られたノミネート作品30点に対し、12月～翌1月に一般投票を行い、部門別に大賞6点を決定した。11月には、県内公共図書館の協力を得てリーフレット「図書館司書が選ぶ こんな時、この一冊」を作成した。

◆図書館設置率 〈平成 27 年 4 月 1 日現在〉
 市区立図書館 100% (全国平均 98.8%)
 町村立図書館 50.0% (全国平均 54.7%)
 (『日本の図書館 2014 統計と名簿』日本図書館協会図書館調査事業委員会/編集 2015.1)

◆図書館設置市町村〔20 市町村〕

甲府市	上野原市
富士吉田市	甲州市
都留市	中央市
山梨市	市川三郷町
大月市	身延町
韮崎市	南部町
南アルプス市	昭和町
甲斐市	富士河口湖町
笛吹市	忍野村
北杜市	山中湖村

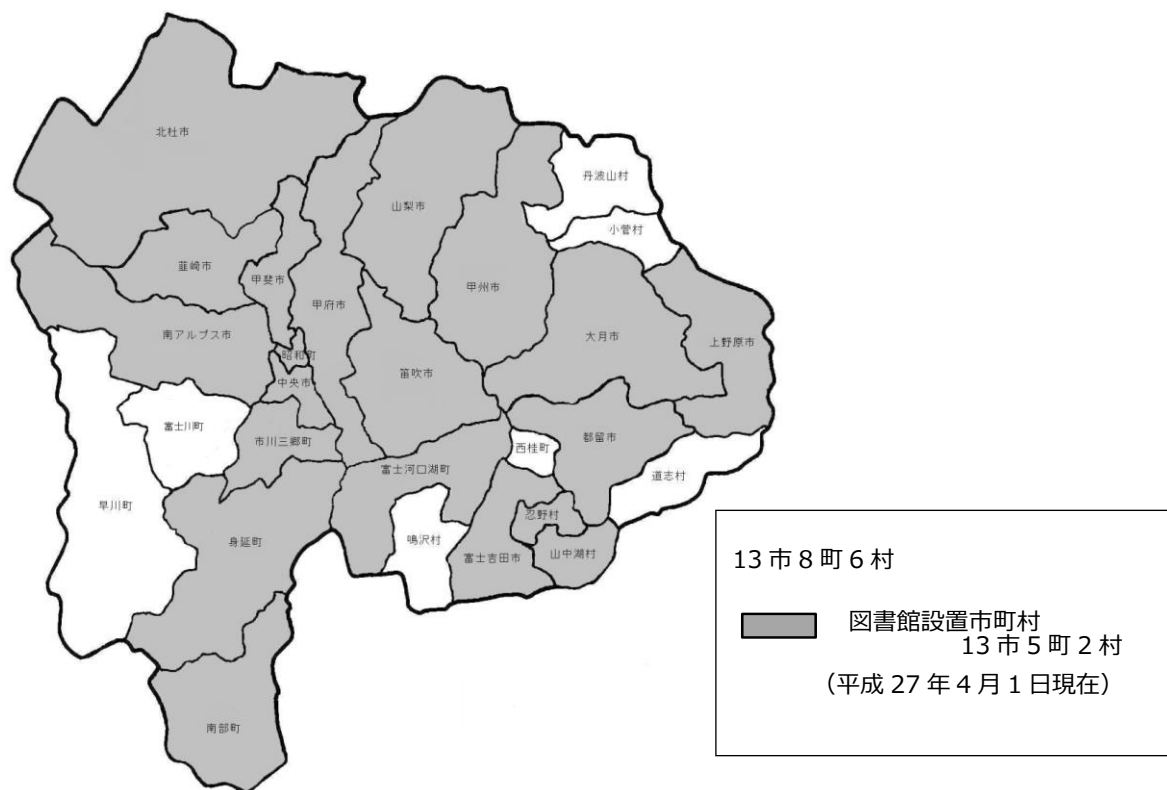


図 1 県内図書館設置市町村